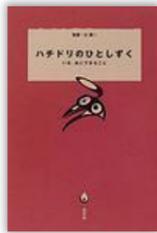


「ハチドリのひとしずく」

尾鷲市立図書館協議会委員 中野 拓也

私の64年の人生の中で、この3年間はとても異質なものでした。今まで自由に自分の判断で行動を決めてきましたが、2019年に中国で初めて確認された「新型コロナウイルス」の影響で、一気にその自由さが奪われました。世界中の人々がみんなそうだったと思います。外出に関わる行動制限があったり、病院にお見舞いに行けなかったり、医療機関が逼迫したり、飲食店の利用制限もあったり、そしてマスクの着用やアルコールによる手指消毒、検温、3密の回避などなど行動制限による不自由さを感じずにはいられませんでした。今は随分緩やかな制限になりましたが、まだまだ以前のような自由さを感じることができません。



『ハチドリの一としずく』 辻信一/監修 光文社

コロナのせいで不自由極まりない中、私は「ハチドリの一としずく」という一冊の絵本に出会いました。南アメリカの先住民に伝わる話だそうです。森が火事になり、多くの生き物が逃げ惑う中、クリキンディという名の小さなハチドリだけは、行ったり来たり、くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは、火の上に落としています。ほかの者に「そんなことをしても何になるんだい」と言われ、「私は、私にできることをしているだけ」と答えた。そんなとても短いお話です。

この本の監修をした辻信一さんは、「さて、燃えていたあの森はその後、どうなったでしょう。森は燃えてなくなってしまったのでしょうか。それとも……。物語の続きを描くのはあなたです」と問いかけています。また、この本の中で、環境ジャーナリストの枝廣淳子さんは物語の続きを「森が燃えているのを見たハチドリは仲間を増やそうと思いました。『それぞれが一羽ずつ仲間を増やすように伝えて！』2回伝わると4羽が、3回伝わると8羽が、10回伝わると1024羽が、20回伝わると100万羽以上が、そして40回伝わると1兆羽以上のハチドリがやってきて…」と述べています。

今、私たちはコロナや環境問題、少子高齢化、災害など、すぐには解決できないことがたくさんあります。そんな問題に対して自分にできることはたかがしれています。もしかするとまったく力にならないのかもしれませんが。



だけど、それでもやっぱりハチドリのように「今私にできることは何だろう」とまた考えています。

ビブリオバトル三重大会優勝! 全国大会へ!

昨年12月に津市で開催された「中学生・高校生ビブリオバトル三重大戦2022」で、輪内中学校に通う藤井春奈さんが見事優勝しました！おめでとうございます！！その後、全国中学ビブリオバトル大会へも出場を果たされました！

ビブリオバトルとは、本の書評合戦です。発表者がそれぞれオススメの本を紹介していき、最後に紹介本の中で参加者が一番「読みたい！」と思った本に投票します。見事1位に選ばれた藤井さんの紹介本『むかしむかしあるところに、死体がありました。』は図書館にもありますので、ぜひ読んでみてください。



『むかしむかしあるところに、死体がありました。』
青柳 碧人/著 双葉社
一寸法師や花咲じいさん、つるの恩返しといったおなじみの日本昔話を題材に、アリバイや密室などミステリー小説として描いた一冊です。

2023 4 April

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2023 5 May

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2023 6 June

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■は休館日、薄い色は祝日

おはなし会の予定

★おはなしだっこ【0・1・2歳 対象】
毎月第1木曜日 10:30~11:00
(4月から時間を変更しました)

★おはなしのひろば【幼児対象】
毎週土曜日 11:00~11:30
(ただし第5週はお休みです)

尾鷲市立図書館 (〒519-3616 三重県尾鷲市中村町 10-41)

開館時間 火~金 9:30~19:00 / 土日祝 9:30~17:00

休館日 月曜日・月末 ※月曜日が祝日の場合は翌日休館

年末年始・蔵書点検期間 月末が土日の場合は直前の金曜日休館

電話番号 0597-23-8282 FAX 0597-23-8283

図書館 HP <https://ilisod003.apsel.jp/owase-library/>



つみくさ



タイトルに「名前」が入っている本

春は出会いの季節。職場や学校など、新生活をスタートさせた方も多いのではないのでしょうか。新しい出会いには、新しい名前がつきもの。今回は「名前」をテーマに、本の題名に人の名前が入っている本を集めました。探してみると、実在の人物だけでなく小説の登場人物などが題名になっている本も多数ありました。この春、皆さんに本の中でも良い出会いがあって、新しい名前をたくさん知ることができるよう！

モデルは紀北町!



『たまちゃんのおつかい便』
森沢 明夫/著 実業之日本社

田舎町で「買い物弱者」を救うため移動販売「おつかい便」をはじめた珠美。継母に複雑な思いを抱きつつも、友人や大好きな祖母に支えられ、今日もキャリイを走らせる。紀北町の「まおちゃんのおつかい便」がモデルになった、お仕事&家族小説です。

本屋大賞/ミネート作品



『宙ごはん』 町田 そのこ/著 小学館

宙(そら)は小学校へ上がる時、育ての母と離れて産みの母と暮らすことに。ろくに宙の世話もしない実母に代わって毎日ご飯を用意してくれるのは、商店街のピストロで働く佐伯だった。温かいご飯と愛情が、家族それぞれの心に寄り添う物語。

《目次》

- ・タイトルに名前が入っている本
- ・図書館利用者さんの「これ読んでみまー！」
- ・図書館エッセイ…中野拓也さん

- ・タイトルに名前がある本いろいろ
- ・「ねえねえ知ってる？」…三重県で多い名字って？
- ・3ヶ月ランキング
- ・ビブリオバトル三重大会優勝 全国へ!



『ひかり、あじ、おとがイタインです』

フミヤ/語り 今津 良樹/絵 ほるぷ出版
食べ物をお口に入れたときの感覚や、周囲の音の聞こえ方が人とは違うフミヤさん。そのことで苦しんでいたけれど、自分の話を聞いてくれる先生と出会って…。「ふつう」は人の数だけあることを感じる一冊です。

今まで考えた事もなかったことを考えさせられる絵本でした。その方たちは、想像を超える苦痛や苦勞を経験されているのだと知り、少しでもその事が知れてよかったです。本当に“ふつうってなんだろう?”と考えさせられた絵本で、子どもにも分かりやすく書かれているので、子どもにも読んであげたいです。

Tさん (20代・女性)



『三体』 劉 慈欣/著

大森 望、光吉 さくら、ワン・チャイ/訳 早川書房
物理学者の父を文化大革命で亡くし、人類に絶望した中国人エリート女性科学者・葉文潔。ある日、彼女は謎めいた軍事基地にスカウトされる。そこでは、人類の運命を左右するかもしれないプロジェクトが極秘裏に進行していた…。

本書に始まる『三体』三部作は全5冊、2,000ページ超えの読みごたえがありすぎるSF小説です。地球、宇宙、そしてゲーム空間と様々な舞台で描かれる壮大な世界観。加えて、魅力的な登場人物によって物語に引き込まれ、夜更かしして読んでしまいました。科学やテクノロジーの描写も多く、濃厚なSFを楽しみたい方におススメです!

岩隠子さん (30代・男性)



『くつやさんとおばけ』

いわさき さとこ/作 BL出版
さびれた商店街にある古くからのくつやさんに、おばけのちょうちんこぞうが訪ねてきました。くつやのおじいさんはくつの相談に応じて、足に合ったくつをつくってあげました。すると、次々におばけたちがやってきて…。

さびれた商店街のくつやさんに、くつを買いにくるおばけたちがとても可愛らしいです。優しい店主のおじいさんと、おばけのやりとりがとても温かいお話です。我が家の子供たちも、たくさん出てくる優しいおばけのことが大好きになりました!

Yさん (40代・女性)

タイトルに「名前」がある本いろいろ(小説)

『一橋桐子<76>の犯罪日記』



原田 ひ香/著 徳間書店
わずかな年金と清掃のパートで細々と暮らす一橋桐子76歳には貯金がない。親友も亡くなり、このままだと孤独死して迷惑をかけてしまう。ある日、テレビで収容された高齢受刑者が介護されているのを見た桐子は「刑務所に入りたい」と願うようになり…。松坂慶子主演でドラマ化され話題になりました!

『それは甘くないかなあ、森くん。』



小野寺 史宜/著 ポプラ社
会社を辞めて住むところを失い、知人宅を泊まり歩く森くん。ちょっとした休暇のつもりが予定は狂い、少しずつ追い詰められていく。ある時、友人から5歳の娘を預けられて…。自分が変わると人とのつながりも変化していく、森くんの成長小説です。

『京都四条月岡サヨの小鍋茶屋』



柏井 壽/著 講談社
時は幕末。京都四条にある「小鍋茶屋」は、若き女料理人・月岡サヨが一人で切り盛りする料理屋。サヨの料理は、縁あって訪れる客に合わせて作られる特別な献立。今夜も美味しい料理を求めて、幕末人がやって来る…。ぜひ「あの人物の事かな?」と予想して読んでみてください。

『リーチ先生』



原田 マハ/著 集英社
西洋と東洋の芸術を融合し、新しい陶芸の世界を切り拓いたイギリス人陶芸家バーナード・リーチ。日本を愛し、日本に愛された彼の生涯を、二代にわたり弟子となった名も無き父子の視点から描いた感動の一冊です。

『横道世之介』



吉田 修一/著 毎日新聞社
80年代後半、バブル真ただ中。大学進学で上京した横道世之介は、サークル活動にアルバイト等ごく普通の学生生活を送っている。友人との付き合いやお嬢様との恋愛など、彼にとっては至って真面目な出来事でもどこか笑えてしまう、懐かしい青春のひとときを描いた一冊。第7回本屋大賞ノミネート作品。

『田村はまだか』



朝倉 かすみ/著 光文社
深夜のバー。小学校クラス会の三次会で、40歳になる男女5人が「田村」の到着を待っている。田村は大雪で列車が遅れ、クラス会に合わなかったのだ。田村は一体いつやって来るのか。田村はまだか。人生にあきらめを覚え始めた世代の、ある一夜を描く。

『無暁の鈴』



西條 奈加/著 光文社
家族に疎まれ寒村の寺に預けられた武家の子・久齋は、手ひどい裏切りにあい寺を飛び出す。「無暁」と名を変え、途中出会った万吉とともに江戸に向かうことに。そこから、彼の波乱万丈な人生が始まる…。無暁の壮絶な一生を描いた時代小説。

『さよならドビュッシー』



中山 七里/著 宝島社
ピアニストを目指す16歳の少女の幸福な人生は、火事とともに終わりを迎えた。全身大火傷を負いながらも、ピアニストになることを誓うが、彼女の周囲では不吉な出来事が起こり始め、やがて殺人事件まで発生し…。岬洋介シリーズ第1作目にして、第8回このミス大賞受賞作。

ねえねえ知ってる?

三重県で多い名字って?

全国で一番多い名字は「佐藤」、2位が「鈴木」というのは有名ですが、三重県の一番多い名字はご存知ですか?なんと1位はあの名字なんです…!! 三重県内名字ランキング5位までをご紹介します。

*** 1位「伊藤」*** 県内圧倒的多数です!

特に三重県北部では人口の1割近くを占める地域もあるとのこと。由来は「伊」勢の「藤」原氏。そこから「伊藤」となったそうです。

2位「山本」 3位「中村」 4位「田中」 5位「鈴木」
(ちなみに、東紀州独特の名字は「三鬼」「畦地」「家崎」など)

こちらの本で調べました →



『47都道府県名字百科』
森岡 浩/著 丸善出版

【小説以外】



『志麻さんの自宅レシピ』

タサン志麻/著 講談社
仕事から帰って30分以内にちゃちゃっと晩ご飯ができてしまいます!なんちゃってローストビーフ丼、サバ缶とトマト缶のカレーなど、伝説の家政婦タサン志麻さんが簡単でおいしいレシピをご紹介します。



『1冊でわかる村上春樹』

村上春樹を読み解く会/著 神山 睦美/監修 KADOKAWA
難解な村上ワールドを読み解き、村上春樹がわかるようになる本。翻訳やエッセイを含めた村上春樹の作品を取り上げて、その意味の考察や、さらなる作品の楽しみ方を解説します。

寿文庫へご協力ありがとうございました!

寿文庫運営委員会では、「寿文庫」充実のため、図書購入に協力していただく運動を続けています。今年もこの運動により、厄年・祝い年や一般の方を合わせて99名の皆様から、821,551円の寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。ここに厚くお礼申し上げます。

寿文庫運営委員会
委員長 宮崎 真一、委員一同



3ヶ月ランキング

2023年1月~3月です

1位 『うさぎ玉ほろほろ』

西條 奈加/著 講談社
親子三代で営む麴町の菓子舗「南星屋」。麴町を大火が襲った夜以来、店に来なくなった渡り中間を案ずる一家だったが、ある日思わぬところから消息が届いて…。



2位 『西国の宝船』おれは一万石 23
千野 隆司/著 双葉社

3位 『貸本屋おせん』

高瀬 乃一/著 文藝春秋
『秋麗』東京湾臨海署安積班 21
今野 敏/著 角川春樹事務所